

平成27年8月1日（土）開催  
袖ヶ浦公民館 1階集会室

## 公共施設再生について、みんなで話し合おう！～公共施設再生計画説明会～

### Aグループ

#### 観点1：保有総量の圧縮（施設再編・再配置）について

- 施設は近くにあるから利用する。幼稚園の合体は如何か。
- 市は子供を育てるだけのものとならないか。将来ずっと住むことのビジョンは？
- 何故第1期を急ぐのか。市民の声を聞いているのか。公民館の廃止を知らない人が多い。
- 廃止された（公民館など）後の地域コミュニティどうするのかの提案がない。
- ツケを残さないといっているが、公民館、学校などの施設も残らないツケはどの世代でもある。
- 民意と違うところで、粛々と進められている。
- 習志野文化ホールの市有化？
- 学校再生 ケース2 第7中に集約 第3中に集約
- 実際に住んでいる住民が不便にならないように考え進めていく必要がある。（統合について）
- 香澄小学校と幼稚園を秋津小学校と統合との案は、無くなったのか。
- 秋津小学校の空き教室利用高齢者と子供たちの共用で地域の仲間と交流の場にする。

#### 観点2：老朽化対策の具体案について

- 早期に袖ヶ浦小学校を統合。西小敷地をURへ。URの再開発。
- 老朽化対策 香澄地区地震後、大体の下水管は新しくされたようだが、各個人家庭よりの排水機能が良くなっていない。
- 安全第一とするなら、老朽化したインフラは改修建替が必要と思うが、計画を企て作っていく時に保全（将来）の費用を考えておくべきと思う。
- 地域ごとにバッサリやるのではなくに丁寧に施設ごとに考える（市民の意見・参加）
- 公民館の廃止はコミュニティの喪失
- 船橋市は統廃合というよりも保全計画（長寿命化）を610施設に対して計画し、毎年見直しをしている。
- 広域圏構想の考え方はないのか。（佐倉市）

#### 観点3：財源確保策について

- 企業に働きかけることが、計画にはないのではないか。
- 市議会議員の適正化
- 他の市との関係で教育施設は多いが職員数は少ないのではないか。
- 高額な新庁舎（88億円）は、必要なのか。無駄な大規模開発が大きい。
- 人件費が減っても物件費が上がっている。民営化の失敗。特定の業者との随意契約の見直し、公平化。
- 市内の工場地帯は健全に運営されているのか。財源は簡単には生まれない。文教都市としての習志野は、高齢社会に超が付く22%が65歳以上。住みやすい子育てのできる市として人口増を目指す。
- 今になって費用がないのというのはどうかと思うが、市有財源（資産）の有効的利用を考えてほしい。

## **Bグループ**

### 観点1：保有総量の圧縮（施設再編・再配置）について

- 学校の統廃合に関して、いただいた情報だけでは決められない。財源だけの問題ではないと考える。通学に時間がかかるのは、困る人が多いだろう。
- 施設を統合すればよいというものではない。西小、東小の統合の場合、子どもと親の立場、利便性を考えて欲しい。
- 学校は地域のコミュニケーションの中心であると同時に、防災拠点としての役割もあるはず。
- 施設の統廃合ありきではなく、将来のまちづくり理念の合意が必要
- コンパクトなまちづくりの具体像を示せ。
- 少子高齢に伴い財源確保難しく、基本的には保有総数の圧縮は可能。
- 子ども、老人などが歩いて行けるのが公共施設。量や数を初めから規制してよいのか。
- スクラップ&ビルドでなくリノベーション中心に考えてほしい。老朽化施設とレッテルを貼らないこと。
- 小学校中心のコミュニティをどうつくるか。
- 総量規制は結果的に出てくるのではないか。

### 観点2：老朽化対策の具体案について

- まずは、地震対策を第一に
- 建築会社にアドバイスしてもらって、建替えなくても現在の技術ですらに20年大丈夫な建物を造れるのではないか。

- 築後、改修・増築・増設した施設がある。各施設毎にカルテを作り、それをデータとしてほしい。
- 業者本位であれば、スクラップ&ビルドOKだが、それは困る。
- 公共施設の老朽化については早急に対策が講ぜられるべきだが、耐用年数を考慮しつつ耐震化を図る努力が必要。
- 築何年だけで老朽化と決めない。自分の家と同じように物を大事に、予算を減らして検討してほしい。
- 1974年頃の建築基準法改正こそ建物構造（躯体）決めた。以後の建物は耐震補強可能である。

### 観点3：財源確保策について

- 公共下水・ガス・電気設備の埋設工事が全体的計画の上で施工すれば安くなる
- 生産的ある公民館等施設に変更する要素はある。
- 町の歴史を作る必要があると思われる。
- 人件費を更に圧縮し財源とする。
- 遊休地の売却資産貸付で早急に具体化する。
- まずは、市議会議員の定数削減すべき、…市議会の傍聴の経験から、半分で良いかと思う。市の大きさに見合う数でよい。
- 社会保険制度・介護保険制度は、各地域（コミュニティ）醸成が大切
- 元気な高齢者を作る施策が大事である。（和光市の例）
- まずは、市の財産（税金・土地）を大切にしてほしい。売却とか税金投入のやり方は、問題が多かった。

## **Cグループ**

### 観点1：保有総量の圧縮（施設再編・、再配置）について

- 高齢者が多い地域と考えるか。若い人に力を入れるか。
- 袖ヶ浦6丁目集会所の利用：年間2,000人(延)の時代、高齢化対応の公民館・集会施設は、近所・近距離が要求される。
- 集合人数：規模については、大きな広さを必要とするので、学校等の共同利用でもよいのではないか。
- 施設の再編・再配置は必要
- 集約した場合、住民のコミュニケーション・絆が継続できるように
- 公民館の本来の目的を考え、地域的に1館は必要

- 大久保公民館は、(リノベーション・新築) 財源的に同じなら耐年数から、新築が良い。但し、利用者数を考えてほしい。
- 集約再配置については、住民の意見も参考に
- 施設再編は仕方ないとしても、遠くなった施設に行くための足のことも考えてほしい。(バス停を増やすとか…)
- 教育施設は慎重に、学校教育と社会教育の施設バランスを考えてほしい。(7公民館は、有効活用している。)
- 道路予定地に新築住宅が。役所の中で横の調整ができているのか。
- 交通、駐車場、売店、その他利便性の確保をしてほしい。

### 観点2：老朽化対策の具体案について

- 近代建築のノウハウを利用。世界の技術者にインターネットで発信して活用している自治体もある。
- 事故がおきないと動かない。
- 菊田公民館、2020年機能停止になると聞くと、色々なサークル、83団体があり、機能停止の前に行き場所を確保してから、機能停止にしてほしい。
- 老朽化が進み、危険な場合は廃止しても利用者の受け皿を考えて計画してもらいたい。(菊田公民館の場合は不可能。利用者の意見を聞く。数値的に)
- 優先順位を決めて、市民に分かりやすく。
- あまり立派に建てずに(中側の变化くらいで、外側はしっかりとする。)
- 市民会館は、フラットで多目的のスペースとするようであるが、利用者の意見を必ず聞いてほしい。

### 観点3：財源確保策について

- 資産の売却、有効活用と共に行政改革が不可欠。議員、職員の数、業務の外部委託など。
- 民間力の活用を。市職員も課によっては、民間と提携する方が、考えもやわらかくなる。
- 税は、公が計画執行するのは江戸時代。
- 使用の幅を広げる。
- 習志野市に他市に売れるものがあるか。資産の切り売りだけ。観光、名所、町づくりがあつて、財政豊かになるだろう。
- 習志野市=文教都市ではないのか。何を売りにしていったらよいのか。
- 教育・文化・スポーツ・生活・環境・優先順位はあるか。

- 健康で文化的に生きられるために財源を使われるべき。確保は手の内だけで考えるのか。アウトプットしていかなければ。
- 遊休地を上手に使う。
- 学校施設は大変重要な施設であるが、津田沼小のような立派なものでなくて良い。今後の小学校建設の時に、1/4程度は、社会教育施設に回したらどうか。